

令和3年7月28日発行
東園お盆号
宗教法人東園寺

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園

報 園 花 東 園

つた 伝えよう
いのち 命の尊さ
ほとけ 佛の心
こころ

ご挨拶

今年もお盆が近づいて参りました。ずいぶんマスク着用の生活も長くなりましたが、檀信徒各位におかれましては益々ご清祥の事と拝察致します。常日頃より当山護持に格段のご厚情を賜り深甚なる感謝を申し上げます。

お盆は逆さまに吊るされたような苦しみを意味するウランバナの音写である盂蘭盆を省略したもので、仏説盂蘭盆経の記述によればお釈迦様の高弟で侍者でもあった阿難尊者が餓鬼道に落ちた母を救う為にお釈迦様の勧めにより、雨安居の修行期間を終えて自恣という言わば反省会を行い心身ともに清らかになった



僧侶達に施しを行った事を由来としています。

阿難尊者の母が何故餓鬼道に落ちたのかと言うと、彼女が自分と自分の家族にはとても優しかったにも関わらず、他人には非常に冷淡であったからだと言われています。つまりお盆という行事は自分の先祖だけでなく、祀り手の無い死者や他の家のご先祖にも等しく思いを傾けることに意義があります。

昨今はお盆であっても自分自身の先祖の墓すらお参りしない方もおられるようですが、先人に感謝し、自ら生きる意味を見つめ直すことは、自分自身とその家族にとって幸せの土台となるものです。

東園寺ではお盆中でも仕事を休めないという方々の為に、本来僧侶の自恣の日である7月15日より、8月24日の地藏盆までを広義のお盆期間と捉え、檀信徒の方々のご供養を承っております。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

東園寺住職 千坂成也合掌

東園寺のお盆供養

初めてお盆を迎える方々、新たに東園寺の檀家になられた方の為に当山のお盆供養の日程と意味を紹介申し上げます。

精霊札

7月15日、皆様に送付致しました七如来名号の開眼供養を行いました。七如来は餓鬼道に落ちた者を救う仏様です。お盆中は施餓鬼棚を飾る場合には施餓鬼棚の中央に、



仏壇の前にお盆の供物を供える場合には、仏壇の本尊様の脇など本尊様に近い場所に安置してください。お盆中に安置したお札は出来れば8月16日迄、遅くとも8月24日の午後5時迄に東園寺に納めてください。

精霊迎え法要

8月12日午後6時

ご先祖様をお迎えする法要です。蠟燭に灯を点して迎えますので、各家でも灯を点してご先祖様をお迎えください。ご気軽に平服でお越しください。

※蠟燭の授与は各家に1つとなります。

お布施について

お盆の布施は寺務所で受付ております。13日に限らず8月24日までお受けします

のでご都合の良い日にお越しください。今年もご供養の証に可愛いトートバッグを差し上げます。

お盆供養の布施袋は初盆の方以外は赤帯で結構かと存じます。

新亡供養

8月14日

1座目午前10時

2座目正午

昨年の8月より本年7月中に逝去された方々の新盆の供養です。

新型コロナウイルス感染対策として2座に分けて読経致します。ご案内申し上げます。時間にお参りください。

戦病没者慰霊並びに

世界平和祈願法要

8月15日午前11時45分

どなたでもご参加頂けます。平服でお越しください。

地蔵盆法要

8月24日寺内法要

お盆の締め括りの法要です。近畿地方では子供のお盆ともされますが、東園寺ではお盆中の本尊であった七如来のお札を焚き上げ供養を致します。

花塔婆

ご自分のお墓はもちろん、他の方のお墓をお参りされた際に供養の印にお供えする小さな塔婆です。従来の供花ですと数日で枯れ、お墓を守っている方が掃除をしなくてはなりません。折角の供養が大きな手間となってしまうのです。安価で衛生的な花塔婆供養をご検討ください。花塔婆一体700円 施主名は寺でお書きします。

花塔婆の予約は8月1日よりお電話で承ります。

五輪盆供養 施主

古い塔婆について

法要後、1年以上経過した塔婆は本堂脇の古塔婆納所に納めてください。

職員のみでは山頂墓地全ての塔婆回収は困難です。何卒ご協力ください。月見墓地など境外に墓地をお持ちの方も同様です。

※法要ご参加の方は新型コロナウイルス感染症予防の為、マスク着用でのご来山をお願い申し上げます。ワクチン接種済みの方も念の為、ご協力ください。

地蔵流し中止について

本年の地蔵流し法要は、新型コロナウイルス感染防止のため中止致します。

境内墓地安全対策について

本年度より本格的な墓地安全対策を始めております。本年度は整備計画に欠かせない墓地全体の正確な図面と地質の調査を行っています。来年度以降は危険樹木伐採、土砂災害対策を中心に作業が進む予定です。墓域全体の通路の整備などは安全対策後となりますのでご了承ください。



お願い

お盆中は駐車場が不足します。何卒ご容赦ください。毎年、駐車待ちの車が生じます。墓参が終わりましたら速やかに車の移動をお願い申し上げます。

大変残念なことです。山の法要や作務に尽力頂いている僧侶職員に心無い言葉で苦情をおっしゃる檀信徒が求められるようです。彼らは小僧では無く、他の寺院の大切な副住職であることを忘れないでください。現在、東園寺には寒風沢松林寺副住職稲富裕幸師、白石宝蔵寺副住職東山聖和師が在職しています。二人無しには東園寺の業務は円滑に進みません。ときには苦情や要望もあるでしょうが、品性を欠く言動は厳に慎んで頂くことをお願い致します。

寺庫紹介

贊 嶺南崇六禪師

(1583～1643)

(贊)

咄、この野狐身 鼻頭口唇に
掛かる 髓皮分付の後 隻履
何人にか囑さん

(意識)

この化けキツネ！鼻の頭が
唇まで垂れ下がり何と醜悪な
ことか！弟子達に「お前はワシ
の教えの髓を得た。」「お前は
ワシの教えの皮しか得ておら
ん。」などと説いた後、片方の
靴を誰に遺したというのだ。

(解説)

嶺南禪師は天正11年生。

諱は崇六。江戸時代前期の
臨濟僧。日向飢肥の出身です。

慶長14年(1609)、故郷

日向飢肥藩主伊東祐慶は、江

戸桜田に東禅寺を開創した

開山に迎えられ、寛永初年

(1624) 妙心寺開堂、妙心

寺117世となります。

瑞巖寺再中興洞水東初禅師

は飢肥藩主伊東祐慶の血族で

あったこともあり、嶺南禅師

のもとで修行をされたと伝え

られます。江戸の喧騒を嫌い

遙か陸奥へ赴いた洞水禅師で

したが、伊達政宗公にその才

能を見出され、後に仙台藩を

代表する僧侶に成長するので

す。

実は嶺南禅師と政宗公は

交流がありました。寛永12

年2月24日に東禅寺に政宗

公が訪問し、終日嶺南禅師

と和やかに過ごした事が伊達

家治家記録に記されます。寛

永十二年は政宗公薨去の前年、

成長した洞水禅師の話題が

嶺南禅師と政宗公を取り持つ

良い酒肴となったのではない

でしょうか。次はこの日の喜

びを詠んだ政宗公の漢詩です。

ご鑑賞ください。

寛永十二年二月廿四日

赴饗于江都東禅寺嶺南

和尚丈室時所作

惜春竟日興方加

思見千山帶晚霞

吟友相談遊宴席

東風有意寺前花

寛永十二年二月廿四日

饗に江都東禅寺嶺南和尚丈室

に赴きし時に作りし所なり

春を惜んで竟日興、方に加わ

る

思い見る千山、晚霞を帯るを

吟友、相い談ず、遊宴の席

東風意有り、寺前の花

